

泉州関空第21号  
平成22年12月6日

国土交通大臣 馬淵 澄夫 様

泉州市・町関西国際空港対策協議会  
会長 福山 敏博

### 関西国際空港と大阪国際空港の経営統合案に対する意見について

関西国際空港と大阪国際空港の経営統合については、「国土交通省成長戦略」に基づき、鋭意取り組まれ、2回の意見交換会において、その案について説明されたところです。

当協議会におきましては、関西国際空港の国際ハブ空港化を目指す上での国でのご検討には、地元9市4町としても協力してまいり所存です。

しかしながら、貴局のご説明では、経営統合案の基本的な考え方及びスキームを述べるにとどまっており、「国土交通省成長戦略」に記載している関西国際空港株式会社のバランスシートの改善が経営統合案によりどのように成され、関西国際空港の競争力が強化されていくかなど、詳細な資料が提示されていない状況でありました。

つきましては、地元9市4町が十分な議論を行い、今回の統合案について理解し、支援していくことができるよう、その前提として、以下の点について、明らかにされたい。

#### (1) 関西国際空港の国策としての位置づけの法制上の明記

「国土交通省成長戦略」では、関西国際空港を首都圏空港と並び、西の国際ハブ空港と明確に位置づけ、そのための方策として、今回の経営統合をはじめ、関西国際空港の国際競争力強化向上に向けた取組みの方向性が明確に示されております。従って、今回の法制化にあっても、改めて国の方針として、そのことを明確に位置づけていただくよう求めます。

#### (2) 事業運営会社及び土地保有会社の事業計画、キャッシュフロー、バランスシート等の提示

大阪国際空港から生み出される黒字（キャッシュフロー）を関西国際空港に充当することなどにより、どのようにして1.3兆円の債務を返済していくのか、政府補給金など激変緩和のための支援措置が講じられるのか、また統合後のコンセッション契約をどのような条件のもとに成立させていくのか、明らかにしていただきたい。

つきましては、事業運営会社及び土地保有会社の事業計画やキャッシュフロー、バランスシート等について示されたい。

#### (3) 両会社と地元市町との連携

本協議会においては、これまで、「地域と共存共栄する空港づくり」という関西国際空港の基本理念に基づき、泉州地域が臨空都市圏にふさわしいまちづくりへの取り組みを積極的に進めるとともに、新飛行経路の導入に対しても全面的に協力してきたところです。

つきましては、事業運営会社の設立後においても、現在実施されている「関西国際空港推進会議」、「関西国際空港の飛行経路問題に係る協議会」などを継承されたい。また、関西国際空港の運営や地域の環境保全等に関しての9市4町の意見が反映され、これまでどおり緊密に関与できるよう、経営拠点（本社）を関西国際空港又は泉州地域に置かれたい。以上2点について、連携の考え方の提示と法整備を行われたい。

#### (4) 大阪国際空港の廃港

関西国際空港の建設は、大阪国際空港周辺の騒音問題の抜本的解決を図ることを喫緊の課題として進めてきた事業であり、また、関西国際空港を国際・国内の航空ネットワークの充実した国際ハブ空港として機能させるために、大阪国際空港の将来の廃港を検討していく必要があります。

つきましては、大阪国際空港の廃港について、民間の経営判断に任せるだけではなく、最終的には、国が国家的戦略をもって判断すべき事項であることから、一定の目途をもって、国においてその検討を進めていく考えを示されたい。

#### (5) コンセッション契約の目途

コンセッションについては、市場の状況を見ながら事業運営会社の運営権を譲渡していくとの説明であり、その条件や実施時期については示されなかった。

その実現にあたっては、コンセッションの条件整備に大きく左右されることは承知しているが、今後、コンセッション契約を実現する際には、地元9市4町の意見も十分に聞く機会を設けられたい。

#### (6) 万全な環境対策の履行

関西国際空港は大阪国際空港の公害問題の反省の上にとって、泉州沖5 kmに海上空港を建設し運営している経緯があり、関西国際空港についても、地元住民の環境問題への不安や生活環境への支障をきたさぬために、経営形態の変更が生じても、新飛行経路導入に伴う「環境面の特別の配慮」について、国の指導の下、確実に履行されることを求めます。